◎特集　気をつけよう！

# 農作業中の事故と紫外線

農作業が一段と忙しくなる季節になりました。例年、農作業中に事故で亡くなる人は、全国で400件近くにも上ります。しかもこのような事故は、日常作業の中で起きています。いつでもわが身に降りかかる可能性は十分にあります。また、オゾン層の破壊により身体や肌に悪影響を与える紫外線にも注意が必要です。予防のためにも日ごろから対策を心がけましょう。

## 農業機械の安全対策

取材協力／社団法人日本農業機械化協会　調査部長・農学博士　石川 文武氏

### 死亡原因のトップはトラクター

２００７年、農林水産省が発表した『平成17年に発生した農作業死亡事故の概要』によると、２００５年の農作業による死亡事故件数は３９５件。そのうち農業機械を使った作業によるものが２６３件で、全体の67％となりました。農機別では、乗用型トラクターによる転落や転倒による死亡が90件でトップでした。

そして機種別割合では、動力刈払機の19％がトップ。けがの部分では、手に関する部分が48％、足に関する部分が31％を占めています。

### けがの原因で一番多いのは…

一方、けがなどの傷害の原因は、２００３年に農林水産省が発表した『農業機械傷害事故調査結果』を見ると、刃部等が31％、挟まれ・巻き込まれが26％でした。死亡で一番多かった機械の転落・転倒は12％です。

### ４つの心掛けで効果的に事故を予防する

それでは農業機械での事故やけがは、避けられないものなのでしょうか。

社団法人日本農業機械化協会の石川文武氏は、「農業機械を使って起こる事故は、ちょっとした不注意や取扱説明書と異なる使い方をした場合に多い」と言います。そこで教えていただ

いたのが、事故を防ぐ４つの心掛けです。

**①取扱説明書を読む**

農業機械の中には、年に数回しか使わない、というものがあります。毎年使い方を忘れてしまい、取扱説明書を見ながら操作を思い出す人も多いのではないでしょうか。

使う頻度の少ない農業機械は、シーズンの初めに取扱説明書をあらためて読んで、正しい操作を確認しておきましょう。忘れてしまっていた操作法を、そこで思い出すようにします。

**②点検整備をしっかり行う**

始業点検は必ず行いましょう。燃料の有無の確認はもちろん、各種装置が正常に作動するか確認し、ネジの緩みやランプ切れなどがないようにします。使用後はきれいに掃除をして、違和感を感じた部分や消耗品は交換して、安全に動くか再チェックしましょう。

また機械のエンジンの止め方は、使用者だけでなく、家族全員で練習しておきましょう。事故が起きたとき誰かがエンジンを止めることで、事故の程度を軽くすることができます。

**③正しい操作をする**

経験の豊富な人ほど、安全に対しての関心が薄れていませんか。急発進、急停車はもちろん、無理な運転を行わないようにします。点検や調整は、必ずエンジンを止めて行います。

**④危険を予測する**

人間の疲労は肉体だけでなく、精神的な疲労もあります。精神的に疲れると、頭の中で作業とは別のことを考えがちです。

特に作業の終盤では、帰宅後のことを考えたり、集中力を欠く状態になりがちです。そのタイミングで事故が多く起こる傾向があります。最後の作業こそ緊張感を持つと、危険の芽を摘むことができます。

また、作業中はなるべく「あの場所がへこんでる。大雨が降って崩れるかもしれないな」など、危険を予測するようにしましょう。スピードを落としたり、危ない場所をよけて作業をすると、危険を回避できます。

**農業機械の特性を知って事故を防ごう**

死亡やけがの原因となっている農業機械は、どのように扱うといいのでしょうか。代表的な農業機械について、発生事故をおさらいし、取り扱い方のポイントを確認しておきましょう。

**●刈払機**

回転する刃による負傷、欠けた刃先や小石などの飛散物による負傷がほとんどです。事故防止には、飛散防止カバーの装着、保護具の着用、特に刈り刃の適正使用が重要です。

また作業中、機械の騒音で第三者からの声による合図が聞こえにくいため、後ろから肩をたたかれ、その振り向きざまに相手を切ってしまう事故があります。そのため長い棒を使って相手に触れる方法や、遠くから鏡を反射させて気付かせ

## 今すぐできる！ 農業機械以外の安全点検

### あなたの服装は大丈夫ですか？

服装によって起こる事故にも気を付けたいところ。例えば、腰手ぬぐいや女性のスカーフが、何らかの作業姿勢によってローラーに巻き込まれるケースがあります。

また、コンバインで収穫作業をする場合、田んぼの四隅はどうしても手こぎ作業が必要になります。その際、稲を手でフィードチェーンに送り込む際に、体や衣服などが巻き込まれるケースもあります。手こぎの場合は素手で行いましょう。

### 携帯電話で思わぬ事故に！

携帯電話をポケットから落としたとき、そのままの姿勢で手を伸ばして拾おうとして農業機械に引っ掛かる、巻き込まれるケースもあります。ストラップなどを携帯電話につけて作業中に落ちないようにしましょう。

**農機具の修理・点検のご用命は、**
**JA基幹工機センター**
☎ 62-5411
または、下記センターまで
●南部工機センター　☎ 24-3555
●木島平工機サブセンター　☎ 82-2246
●栄農機燃料センター　☎ 87-2133

る方法などで、相手とのコミュニケーションを取るのもいいでしょう。

**●乗用型トラクター**

転倒時の運転者保護として、骨組みだけの安全フレームではシートベルトを併用することでけがを防げます。また、窓ガラスやドアがついた安全キャブでは車外への飛び出しもなく、深刻なけがを防ぐことができます。特に安全キャブは、風雨を防いでくれるメリットもあり、労働条件の改善としても大いに役立つでしょう。

そして、ほ場から出て道路を走る際は、片ブレーキにせず、ブレーキペダルを確実に連結することも忘れないようにします。

**●コンバイン**

ほ場から出るときに注意が必要です。田植え機では進入路を斜めから乗り入れたため前輪が浮いたり、コンバインではクローラの関係で車体の傾きが急に変わったりして、ヒヤッとした体験をすることが多いものです。農林水産省の施工規則では進入路の勾配は12度以下ですが、実際はそれよりも急な角度になっていることが多いのも原因です。ほ場から出る際は真っすぐ進むよう気を付けましょう。

**●歩行用管理機**

バックする際は十分に注意しましょう。バック時にハンドルが跳ね上がり、耕運部に巻き込まれたり、樹木やハウスなどの柱に挟まれる事故が発生することがあります。

# 紫外線対策

**ますます日差しが強くなるこれからの季節。それに伴い、紫外線の量も増加していきます。屋外作業が多い農家にとって、紫外線対策はとても重要。紫外線に対する正しい知識を身につけて、肌の老化を防ぎましょう。**

監修／ＪＡ長野厚生連　佐久総合病院名誉院長　松島松翠先生

## 肌に蓄積されて起こる紫外線の影響

なぜ紫外線は肌に悪いのでしょうか？　皆さんも経験がある日焼けは、やけどと同じなので、皮膚が赤くなりヒリヒリと痛みます。しかし、紫外線の影響は日焼けだけではありません。


## JAの自動車共済に加入なら大丈夫！

トラクター・スピードスプレイヤー・コンバインなど、農耕作業用小型特殊自動車は自賠責共済（保険）に入れないので心配。農作業中の転倒事故などに備えて、JAの自動車共済に加入しましょう。

**農耕作業用小型特殊自動車保障内容および掛金**

・対人賠償　**無制限**　・搭乗者傷害特約（死亡）**1,000万円**
・対物賠償　**無制限**　（治療）**5,000円**

【参考】

| 自動車共済掛金（年額）（6D等級） | 1年無事故（7F等級） | 2年無事故（8等級） | 3年無事故（9等級） |
|---|---|---|---|
| 共済期間1年　払込方法一時払 **8,500円** | **6,450円** | **5,880円** | **5,320円** |

ご注意：ご契約の際には、「重要事項説明書」および「しおり」「約款」を必ずご覧ください。

詳しくは、支所共済窓口または
ライフアドバイザーへおたずねください。　JA共済　0616999164

◎特集

気をつけよう！

# 農作業中の事故と紫外線

例えば、今まで加齢による老化が原因とされていた深いシワ。中年期の女性に多く見られ、額やほおに左右対称に現れる肝斑（かんぱん）やシミ。また、最近の医療では、白内障や皮膚がん、免疫機能の低下も紫外線と関係があると指摘されています。

これらの原因は、紫外線が皮膚の細胞にある遺伝子を傷つけるためです。健康な状態であれば、傷は修復され、細胞も再生されますが、何度も紫外線を浴びると、遺伝子にダメージが蓄積。その結果、細胞の再生が正しく行われなくなり、がんなどの疾患になりやすくなってしまうのです。

まずは下のイラストで、自分の肌がどれぐらい紫外線の影響（ダメージ）を受けているかをチェックしましょう。

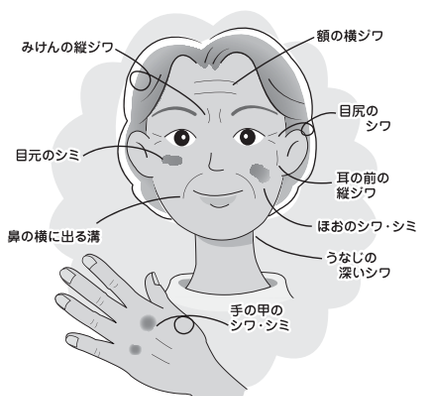
## 紫外線の種類を知って日焼け防止剤を選ぶ

紫外線から肌を守るのに有効なのが、市販の日焼け防止剤です。クリームやローション、スプレー状のものなど、さまざまなタイプがありますが、どの日焼け防止剤にも必ず記載されているのがＳＰＦ値とＰＡ値です。

### ●日焼け防止剤使用の目安●

| 生活・農作業のシーン | SPF値 | PA値 |
|---|---|---|
| 散歩・買い物 | 10～15 | ＋ |
| 秋冬期の農作業<br>（稲刈りやリンゴ収穫など） | 15 | ＋＋ |
| 運転中 | 15～30 | ＋＋ |
| 春夏期の農作業<br>（田植えや野菜収穫など） | 30 | ＋＋＋ |
| 夏の海水浴・晴天下のスポーツ | 30～50 | ＋＋＋ |

### ●紫外線による肌のダメージをチェック●



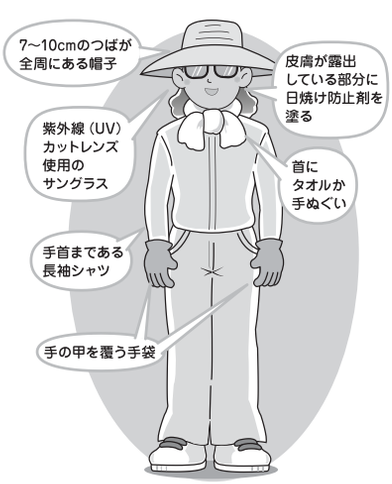

ダメージの大きい人は、それ以上進行しないよう、紫外線から肌をガードし、日焼けしないように心がけましょう。

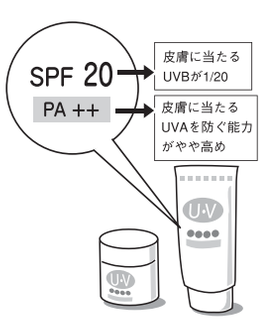
### ●農作業中の紫外線対策●

便利な日焼け予防剤ですが、皮膚をカバーする分量を使わないと、効果が上がりません。特に晴天下での農作業は、汗と一緒に流れてしまうことが多いものです。休憩時間を利用して、必ず3～5時間置きに塗り直しましょう。肌の弱い人はかぶれることがあるので、紫外線吸収剤（※）を使ってない日焼け防止剤を使用してください。

また、帽子や手ぬぐいで皮膚の露出をおさえることも大切です。作業用シャツは、目の細かい生地の方が、紫外線防止効果が高くなるのでおすすめです。

※紫外線吸収剤の中には、まれにアレルギーや炎症を引き起こす可能性のある成分も含まれています。肌の弱い人は使用を控えた方が良いでしょう。




ＳＰＦ値とは、日焼けや皮膚がんの原因となり、健康に影響を及ぼす紫外線「ＵＶＢ」を防ぐ力を数字で表したもの。例えば、ＳＰＦ20という表示は、皮膚に当たる「ＵＶＢ」が20分の1になることを示します。

またＰＡ値とは、シミやシワの原因となる紫外線「ＵＶＡ」を防ぐ力を＋（プラス）で表したものです。＋の数が多いほど防ぐ能力が高いことを示し、最大三つまで表示されています。

このように、私たちに影響を及ぼす紫外線の波長は2種類あり、日焼け防止剤には、それぞれ異なる紫外線をガードする成分が含まれているのです。

## 季節や行動によって賢く防止

紫外線は季節や場所、天候によって降り注ぐ量が異なります。一番多いのは4月から9月ごろで、ピークは7月。晴れの日を100％とした場合、曇りや木陰は50～80％、雨天時は20～30％に減少します。季節や行動によって日焼け防止剤を使い分け、効果的に紫外線を防ぎましょう。



●全体運　新しいことを始めるのに良い月です。育てたことのない品種に挑戦したり、新しい農機具などを見に行くと吉　●健康運　慌ててけがをしやすくなっています。安全確認を　●幸運を呼ぶ食べ物　たけのこ

おうし座
4/21～5/21